

【第3編 資産運用 5-29】公募価格の決定と抽選申込み

株式 ネット証券と店舗型証券、有利なのはどちらか？

(1) 楽天証券

① SREホールディングス (2980)

仮条件：2,550円～2,650円

申し込み株式単位：100株単位

→集計結果

2,650円：248人

2,600円：369人→公募価格2,600円に決まる！

2,550円：201人

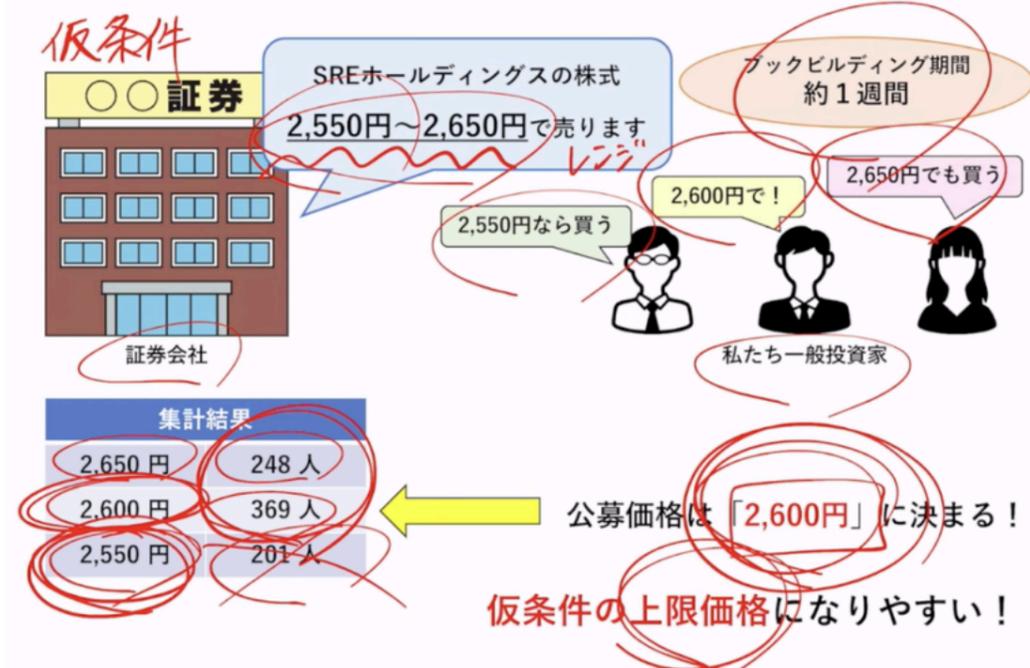
※仮条件の上限価格になりやすい！

→抽選に参加しないでもOK

もう一つの方式：入札方式（オークション）

→異常な株価は投機目的に短期売買がされる恐れがある

公募価格はこうやって決まる！



(2) ネット証券と店舗型証券、どちらが有利か？

① 主な店舗型証券

- ・野村証券：ネット配分は10%以上（平等抽選）
- ・大和証券：15%が平等抽選、10%がチャンス当選
- ・SMBC日興証券：10%が平等抽選、最大5%がステージ別

ネット証券 vs. 店舗型証券 どちらが有利か？

主な店舗型証券

90社

	野村証券	大和証券	SMBC日興証券
2018年 取扱い銘柄数	37 (23)	31 (13)	66 (21)
2017年 取扱い銘柄数	38 (27)	41 (18)	71 (13)
2016年 取扱い銘柄数	30 (18)	34 (15)	64 (13)
ネット配分	10%以上：平等抽選	15%：平等抽選 10%：チャンス当選	10%：平等抽選 最大5%：ステージ別

②主なネット証券

- ・SBI証券
- ・楽天証券
- ・マネックス証券
- ・松井証券
- ・auカブコム証券（カブドットコム証券）

→家族口座の開設や未成年口座の開設で数を増やして挑戦する

ネット証券 vs. 店舗型証券 どちらが有利か？

主なネット証券

ブックビルディング 権利
古株

証券会社	主な抽選のルール（原則）
SBI証券	配分予定数量の70%を完全平等の抽選に配分する。 残り30%は「チャレンジポイント」の利用者に配分する。
楽天証券	配分予定数量の100%を完全平等の抽選に配分する。
マネックス証券	配分予定数量の100%を完全平等の抽選に配分する。
松井証券	配分予定数量の100%を完全平等の抽選に配分する。
auカブコム証券 (カブドットコム証券)	配分予定数量の100%を完全平等の抽選に配分する。